

(オプアウト用)

腹部超音波検査を受診される皆様へ

当センターでは下記研究を行っております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方のうち、診療情報の提供を希望されない場合は下記の連絡先へお問い合わせください。

1. 研究の名称

多発性嚢胞腎の要精検判定についての検討

2. 研究責任者

大阪がん循環器病予防センター 臨床検査室 砂川

3. 本研究の目的

本研究は、多発性嚢胞腎の超音波画像所見は、腹部超音波判定マニュアルでカテゴリー2、判定区分D2(要精検)とされているが、精検施設で多発性嚢胞腎と確定診断されても、治療の適応外であるとの回答を受けることが多く、取り扱いに苦慮している。多発性嚢胞腎が疑われる場合に、その一部を判定区分C(要再検査)とする試みについて調査・報告する。

4. 調査データ該当期間

2021年4月1日～2026年3月31日

5. 研究方法

(1) 対象となる方

2021年4月1日から2026年3月31日に腹部超音波検査を受診され、多発性嚢胞腎を認められたかた

(2) 利用する情報

患者背景 年齢、性別、既往歴

腹部超音波検査結果 画像所見、病名、カテゴリー、判定区分

6. 個人情報配慮

本研究では個人を特定できる情報は削除し匿名化したうえで実施します。

7. 利益相反

本研究に開示すべき利益相反はありません。

8. お問い合わせ

メールアドレス：kensa@osaka-ganjun.jp

担当者：砂川

9. 承認

本研究は大阪がん循環器病予防センター倫理委員会にて R8-倫理-7 として承認されています。